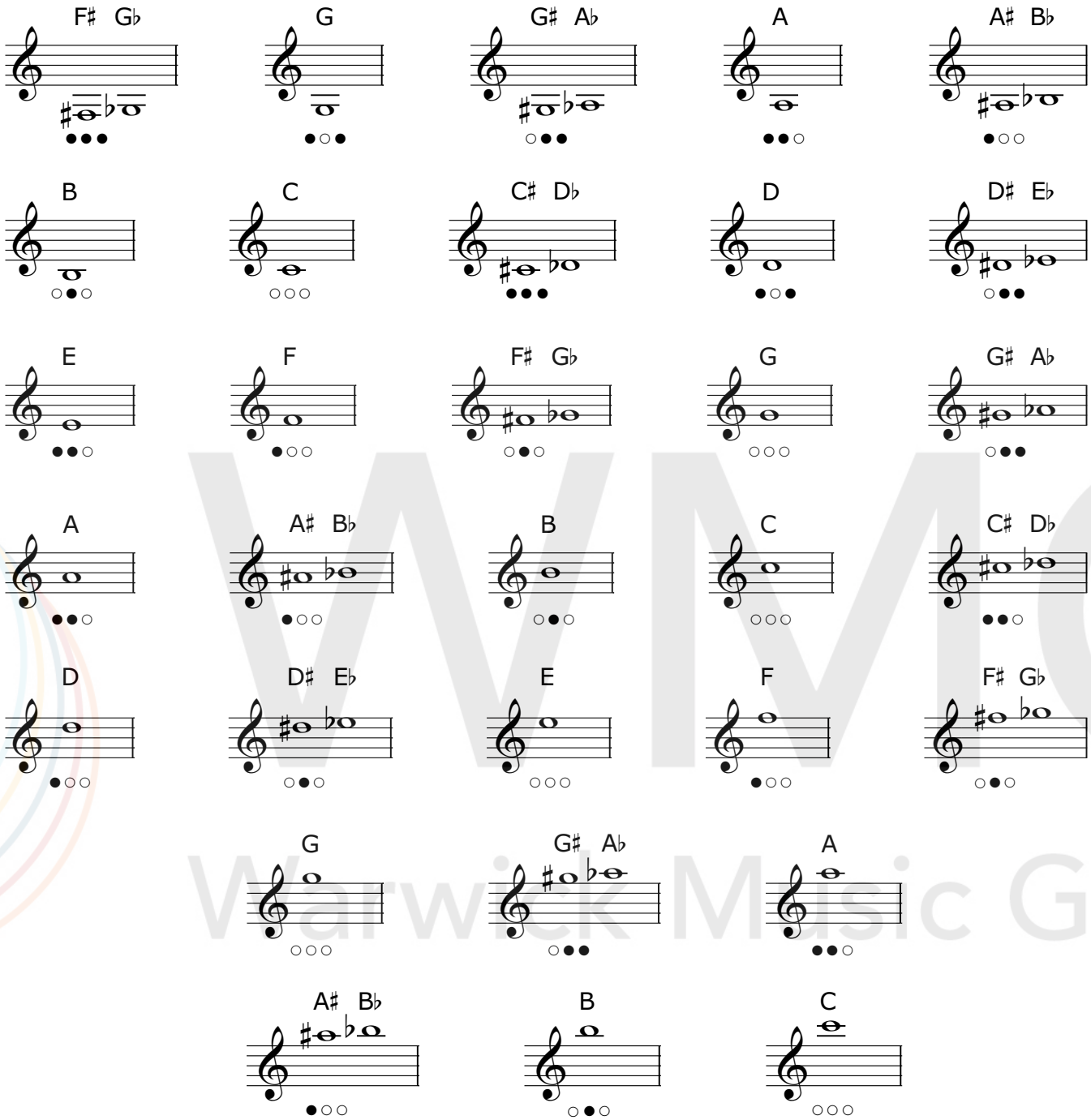
pTrumpet

ビギナーズガイド

Trumpet Fingering Chart

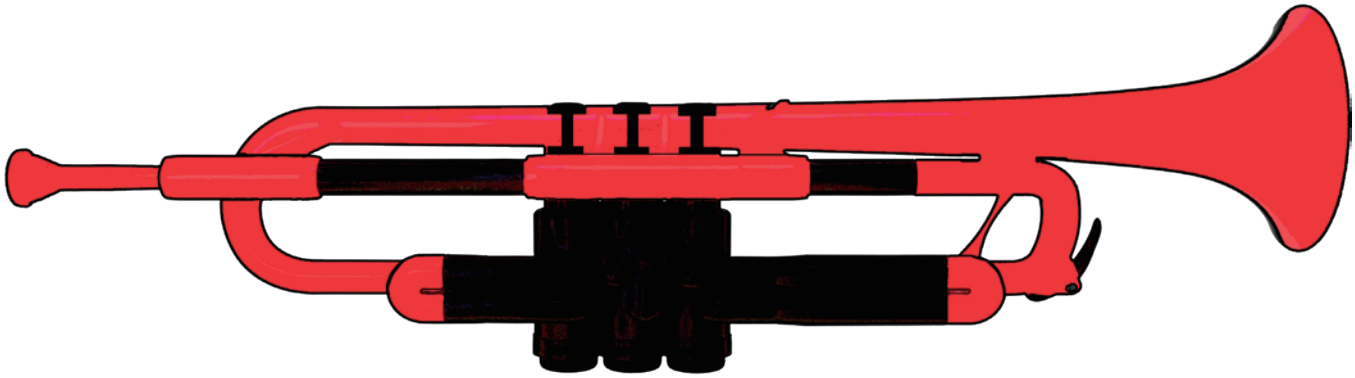


©2019 warwickmusicgroup.com

WMG
Warwick Music Group

pTrumpet

ビギナーズガイド



著者
Chris Fower
&
Grant Golding

Contents

はじめに	5
トランペットについて	6
セット内容	7
pTrumpet の仕様について	8
構え方	9
pTrumpet の持ち方	10
呼吸と吹き方	11
バズィングの方法	12
最初の音	13
演奏してみよう！	14

はじめに

pTrumpet は、トランペットを始めるための最適な楽器として設計されています。
pTrumpet は、プラスチック製で一般的な B♭トランペットです。

このテキストでは、最初の発音方法や、pBone をどのように演奏するかを説明します。課題曲や動画がありますので、各ページの QR コードからご覧ください。このテキスト（PDF）をWEBサイトからダウンロードした場合、パソコンからリンクをクリックの上、アクセスしてください。スマートフォンの場合は、 QR コードをスキャンしてアクセスできます。動画は YouTube にリンクしていますので、日本語字幕を設定の上、ご視聴ください。

一番重要なことは、pTrumpet を楽しく演奏することです。

トランペットに挑戦してみよう！

楽器の演奏は、人間にとって最もやりがいのあることの一つです。
音楽は世界共通言語であり、人間が自分たちのために自分たちで作り出した文化でもあり、サブカルチャーでもあります。
楽器を演奏することは、単に音楽に触れるだけでなく、様々なスキルを向上させ、子供たちに良い影響を与えるということも、これまでに何度も証明されています。

金管楽器はいろいろな意味で面白いです。
管楽器に馴染みのない方には、専門的で演奏するのが難しいように思われるかも知れませんが、慣れてしまえばお年寄りから子供まで誰でも楽しむことができます。

このテキストでは、なるべく簡単でシンプルに、そして自然に演奏できるように解説します。

管楽器の発音の仕組み

すべての音は空気中を伝わる振動です。振動が耳に届くと、脳はこの感覚を私たちが聞く音に魔法のように変換します。金管楽器奏者は唇を一緒に振動させ、これにより楽器内部で振動が共鳴し、金管楽器の素晴らしいノイズが発生します。このノイズが、まさに金管奏者になるための核心です。

これから学ぶことになりますが、唇から楽器に空気を吹き込まなければ振動は発生しません。したがって、吹くことと振動の２つの要素がトランペット、コルネット、ビューグルの演奏の核心となります。
これら２つのシンプルなスキルを身につければ、素晴らしいトランペットの旅を生涯続けることができます。トランペットが参加する音楽の種類やジャンルは多岐にわたります。

このテキストは、pTrumpet を使用してトランペットの世界への最初の一歩を踏み出すのに役立ちます…
トランペットの旅を始める、最も簡単な方法です。

トランペットについて

トランペットとは？

トランペットは最も古い楽器の一つで、古いものは原始人の携帯電話のように使われていました。
空洞の動物の骨や木で作られたこの大きな音は、遠く離れた人々の注意を引くのに最適な方法でした。

金属で作られた最初のトランペットは今でも存在しており、紀元前1352年にツタンカーメンとともに
エジプトのピラミッドに埋葬されました。その当時トランペットは戦争の道具であり、大きな音は戦場で
メッセージを伝えるために使用されました。トランペットの音は、パレスチナの古都：エリコの壁を破壊
するほどの大音量だったとも言われています。

第 96 回オリンピックでは、トランペットのコンテストが開催されました。
1550 年、イタリアの宮廷は式典に威厳を加えるためにトランペット奏者を採用しました。戦場で響き
渡る明るい音は、ヨーロッパ全土に急速に広まり、スコットランド女王メアリーもエディンバラで
トランペッターのチームを雇ったと言います。

1607年にクラウディオ・モンテヴェルディという作曲家が『オルフェオ』を作曲し、これを機に戦争で
ファンファーレとして使われていたトランペットが、バロック時代には楽器として確立されるように
なりました。トランペット奏者はスーパースターとなり、特に高音を演奏できる奏者が求められました。

音楽スタイルの変化やより複雑な音階を使用する楽曲の登場により、トランペットの演奏は制限される
ようになりました。モーツァルトのような作曲家は、単純な音符とファンファーレのようなパターンを
使用しました。1796年、ハイドンはトランペットのための協奏曲を作曲しましたが、これはウィーンの
宮廷トランペット奏者で発明家のアントン・ヴァイディンガーが発明したキー付きトランペットを披露
するものでした。

キー付きトランペットはそれ以上発展しませんでしたが、1818 年の産業革命により新しい技術がもたら
され、それが今日私たちが知っているトランペットに発展させることになりました。

トランペットは、ストラヴィンスキー、マーラー、シュトラウス、ベルリオーズの音楽で挑戦的な
パートを担当するオーケストラの重要な楽器となりました。オーケストラにおいてトランペットの
重要性が再び高まったのは、ルイ・アームストロングやマイルス・デイヴィスのような
プレーヤーがジャズで使用したボーカルのようなサウンドでした。

トランペットは、オーケストラからロックバンドまで、さまざまな音楽ジャンル
で聞くことができます。何人かの有名なトランペット奏者をご紹介します。
ルイ・アームストロング、ハリー・ジェームス、ハーブ・アルパート、
アリソン・バルサム、ウィントン・マルサリス、ハーカン・ハーデンバーガー、
そしてティミー・トランペット。気になる方はネットで検索してみてください。

トランペットは金属だけでなく、プラスチック、骨、カーボン、クリスタル、
木から作ることもできます。最も高価なトランペットは、1995年のオークションで
55,000ドルで落札されたディジー・ガレスピーのものでした。
自動車メーカーのトヨタは、トランペットを演奏するロボットを作りました！

pTrumpet セット内容

pTrumpet とマウスピース

pTrumpet のパッケージには、pTrumpet ケースに本体、マウスピース、説明書が同梱されています。

組み立て方

pTrumpet の組み立てはとても簡単です。マウスピースを本体端のレシーバーに付けてください。
外れなくなるため、マウスピースを手で無理に押し込まないでください。
マウスピースを出し入れする際に、軽くひねるだけで大丈夫です。

pTrumpet の仕様について

概要

pTrumpet は丈夫で、メンテナンスが簡単です。
一般的なトランペットのマウスピースは pTrumpet に適合します。

クリーニング： pBone は、リサイクル可能で、非常に耐久性があり頑丈なABSプラスチックで作られています。また、菌の増殖を阻止する抗菌技術も採用されています。外側を掃除する際は、暖かい石鹸水を含ませた柔らかい布を使用してください。その後、糸くずの出ない布で拭いて楽器を乾かします。
初めて使用する前に楽器を洗浄することをお勧めします。
下の QR コードから「pTrumpet の洗浄方法」の動画がご覧いただけます。

主管抜差管

主管抜差管は、他の楽器と演奏する際、ピッチ（音程）を調整するために使用します。初めは必要ありませんが、主管抜差管を 1 センチ程抜く（外側にずらす）ことをお勧めします。
また、時々チューニング管に少量のグリスまたはワセリンを塗ることもお勧めします。これにより、スライドのスムーズな動きを維持し、pTrumpet の気密性が高まり、サウンドが向上します。

ピストン

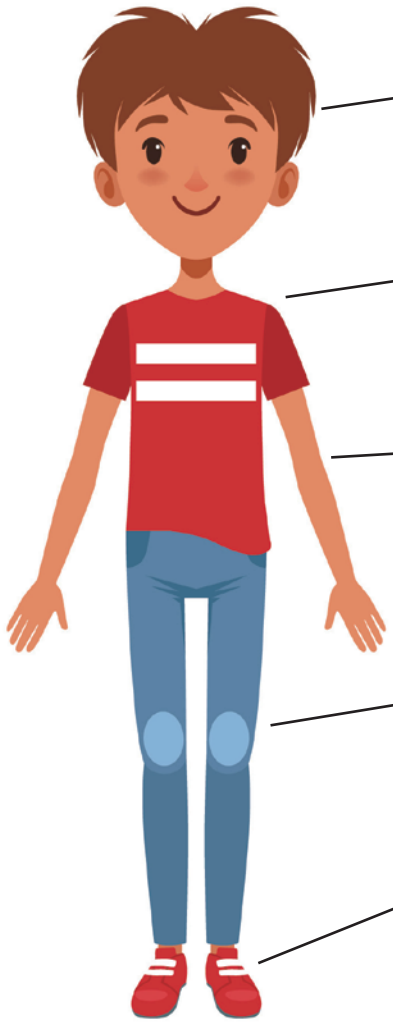
pTrumpet のピストンはすべてプラスチックで作られているため、オイルの注入は必要ありません。動きが悪くなった等の症状が発生した場合は、右の QR コードから「ピストンの洗浄方法」の動画をご参考ください。

構え方

「金管楽器を演奏するのに構え方は重要です」

そもそも姿勢とは何でしょうか？
基本的に姿勢とは、体をどのように保持するか、体がどのような位置にあるか、体に対してどのように楽器を構えるか、ということです。これにはつま先から頭までのすべてが含まれ、すべての位置が重要です。
金管楽器を演奏する時は、吸ったり吐いたりとたくさんの空気を使うので、これをできるだけ楽にすることが非常に重要です。

良い姿勢や呼吸は、私たちの健康にとっても素晴らしいことです 。私たちの日常生活で、正しく深く呼吸をコントロールすることがいかに重要であるかを考えてみましょう。呼吸と姿勢をコントロールすることはマインドフルネスにも効果があり、瞑想やヨガでも基本になっています。



頭をまっすぐにして、まっすぐ前を向いてください！
最高のサウンドを得るには、pBone をわずかに下に向け、
頭をまっすぐにすることがとても重要です。

肩は力を抜いてリラックスしてください。
肩を上げると呼吸が大きくなると思っている人が多いですが、
そうではありません。肩を落としてリラックスするのが一番です。

腕で pBone を構えることになります。
やはりリラックスするのが一番です…
pBone は非常に軽いので、これは簡単です！

脚はわずかに開き、
腰とほぼ同じ広さにします。

足は床と同じように平行にします。

初めてスタートする
方はコチラの動画を
ご覧ください。

pTrumpet の持ち方

pTrumpet の持ち方は難しくありません！

覚えておくべき最も重要なことは、良い姿勢を保つ必要があるということです。前のページで説明したように、pTrumpet を構える際は頭をまっすぐにして前を向き、マウスピースを少しだけ下に向ける姿勢を確認してください。

金管楽器を演奏する時は、できる限りリラックスしていることが非常に重要です。それにより、深く息を吸うこと、強く息を吹き出すこと、演奏中の身体へのストレスや負担を避けることなど、多くのことに役立ちます。

トランペットには右利き用も左利き用もありません。右手は常にピストンを押す動作を担当し、左手は常にトランペットを持ち上げる動作をします。

左手から始めて、親指をバルブケーシング（ピストンが収まっている場所）の後ろに置きます。バルブケーシングの前面に指を巻き付けて完了です。

右手は、親指をマウスパイプ（マウスピースに続いている管）の下に置き、小指は指掛けに置きます。残りの指を各ピストンに置きます。

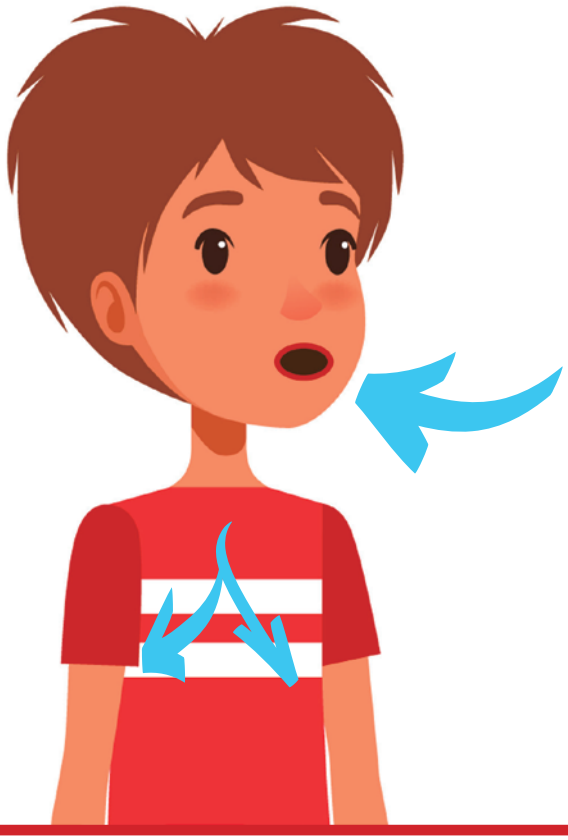
呼吸と吹き方

皆さん、呼吸の仕方は分かりますよね？

pBone を演奏するには、空気を吹き出すことが必要です
pBone で音を出すには、強く安定した空気の流れが大切です。
素晴らしい呼吸を行うための簡単な手順をいくつかご紹介します。

知っていますか？

平均的な人の呼吸は、１日に
約20,000回、1日に8,000リットル以上
の空気を吸ったり吐いたりしています。



Step 1

呼吸は鼻からではなく
口でします。

Step 2

深くリラックスして吸い込みます。

Step 3

息が体の奥深くまで入っていき、
爽やかな気分になることを
想像してみてください。

Step 4

肺が空気で満たされていると感じたら、
口から空気を吐き出します。
ろうそくの火を吹き消す感じです。

呼吸のゲーム

チャレンジゲーム１

口の前に紙をぶら下げます。
大きく深くリラックスした呼吸で
肺を満たし、紙が波打つように息を
吹き込みます。どれだけ長く
波打つことができますか？
波打つ速さは変えられ
ますか？

チャレンジゲーム２

鉛筆をテーブルの上に置きます
（丸い鉛筆にしてください！）。
大きく深くリラックスした呼吸で肺を満たし
ます。鉛筆をどこまで飛ばすことができます
か？ 遠くまで飛ばせるようになったら、
床でやってみてください。

バズィングの方法

空気を流してみよう！

姿勢についての説明を覚えていますか？
頭をまっすぐにして、まっすぐ前を見ることが重要です！
まっすぐ前を見て、大きく深呼吸をして、指に空気を吹きます。
指は口よりも少し低めにして、下向きの角度にします。

バズィングに挑戦

ゆっくりと息を吹きながら、上唇と下唇の幅ををどんどん狭めていってください。
ある一定のところで音が鳴るはずです。
空気が流れるための穴が唇の中央にあることを確認してください。これをアパチュアといいます。
空気の流れがなければ音は鳴りません。

バズィングが鳴らない場合は、マウスピースを使うと改善することがあります。
マウスピースが唇の中央と同じ空気の流れになっていることを確認してください。

マウスピースは、上下左右とも唇の中心にある必要があります。マウスピースと唇の周りがしっかり閉じられていることを確認してください。

最初の音

最初の音を出す前に

これまで学んだことを思い出してみましょう！

1．pTrumpet を組み立てます。
2．良い姿勢： リラックスしましょう。
3．頭をまっすぐにして、まっすぐ前を見てください。
4．pTrumpet の快適なグリップや持ち方を見つけましょう。
5．吸ったり吐いたり深呼吸を数回練習します。

pTrumpet で最初の音を出してみよう

1．正しい姿勢から頭を動かさずに pTrumpet を口に近づけます。
口から楽器に近づかないよう注意してください。

2．バズィングの時と同じように、唇とマウスピースの間をしっかり閉じます。

3．顔と pTrumpet の間の角度をバズィングの時と同じ、少し下にしてください。
写真ほど下に向けなくても大丈夫です。

4．口の横から大きく息を吸います。

5．次に、pTrumpet に息を吹き込むと、素晴らしいサウンドが得られるはずです。

6．長くリラックスした音を練習します。音が違っても問題ありません。
同じ音でも大丈夫です！

7．素晴らしい音を出すことに集中してください。

演奏してみよう！

異なる長さの音を吹いてみよう

pTrumpet でいくつかの音を演奏できるようになったら、自分のサウンドを音楽に合わせてみましょう！
「Dancy」と「Funky」は一緒に演奏できるバックトラックです。

演奏してみましょう。ピストンを押し下げていなければ、間違った音を演奏することはできません。
異なる長さで、その音が何拍続くか確認してみてください。

Dancy

Play audio

Backing track

Funky

Play audio

Backing track

「著者や出版社から著作権を盗む人たちは、なぜか万引き犯を悩ませるような罪悪感を感じない。」

© 1981 Elizabeth Smith, Times Newspapers Ltd.
Reproduced by kind permission of Times Supplements Limited

楽譜のコピーとスキャンについて

ワーウィック・ミュージックは設立以来、管楽器練習曲の開発に力を注ぎ、これまでに1,500曲を
超える作品を受嘱、出版してきました。違法にコピーされ流布されてしまった楽譜は販売できず、
作曲家の減収につながります。
違法コピーを見つけた際は、国内輸入代理店：株式会社キョーリツコーポレーションまでご報告ください。
https://kyoritsu-group.com/support/contact_us/#main

品質管理

ワーウィック・ミュージックは、正確で分かりやすいコンテンツを制作するよう努めています。
本書やその他のコンテンツに誤字・脱字を発見された場合は、ご連絡ください。

国内輸入代理店：株式会社キョーリツコーポレーション
https://kyoritsu-group.com/support/contact_us/#main

WARWICK MUSIC LIMITED
The Hayloft, Rock Farm Business Centre, Hangman's Lane,
Seckington, Tamworth, B79 0LA

Tel: +44 (0)24 7671 2081
Fax: +44 (0)24 7671 2550
sales@warwickmusic.com
www.warwickmusic.com
© Copyright 2020 Warwick Music Limited
All Rights Reserved. Unauthorised Reproduction is Illegal.

pTrumpet